公益財団法人 中東調査会
Middle East Institute of Japan
المعهد الياباني لبحوث الشرق الأوسط

2025 年
11 月 6 日
No.A25-07

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌（2025 年 10 月）

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・10 月 30 日（木）、久保 文明 防衛大学校長「トランプのアメリカはどこへ行くのか」」（於：オークラ東京）

＜要旨＞

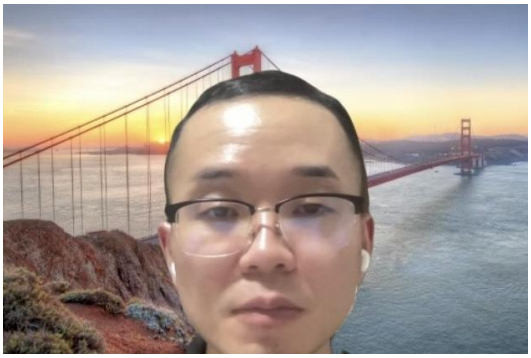
トランプ大統領の支持基盤や第二次トランプ政権の性格、日米関係に関する今後の展望等について、説明がなされた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・10 月 7 日（火）、犬塚 悠太　宗教情報リサーチセンター研究員(東京大学大学院博士課程)「イスラエル国内の状況と宗教シオニズム」：「10 月 7 日」から 2 年を経て」（Zoom 形式）

＜要旨＞

講師より、2023 年 10 月 7 日以前・以降のイスラエル国内の動向やユダヤ教からみた戦争、宗教シオニズム思想の変遷、最近の傾向等について、基礎知識も含め詳細に説明がなされた。質疑では、宗教政党による政策決定への影響、世界規模での宗教右派の共通点や傾向、ガザ全土の支配における世俗的言説などにつき質問がなされ、講師から詳しい回答があった。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2025 年 10 月号（2025 年 11 月 6 日付）

1. ガザ戦争（10 月の動き）：停戦の成立と不透明な戦争終結プロセス
2. モロッコ：国連安保理で西サハラ自治案への支持決議が採択
3. シリア：フランス起源のイスラーム過激派が暫定政府の部隊と交戦
4. エジプト：GERD が突きつける安全保障上のリスク
5. イラン：巨額の負債を抱えたアーヤンデ銀行の経営破綻

※内容はホームページをご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/）

(2) 中東かわら版の発行

・№66「エジプト：アラー恩赦にみる対イギリス関係調整と政権の自信」（研究員 平寛多朗、10 月 1 日）
・№67「モロッコ：若者主導の抗議デモの広がり」（主任研究員 高橋雅英、10 月 3 日）
・№68「エジプト：トルコとの海軍合同演習実施とイスラエルに対する牽制」（研究員 平寛多朗、10 月 6 日）
・№69「UAE：米国が UAE に先端 AI チップを輸出へ」（主任研究員 高橋雅英、10 月 9 日）
・№70「イラン：ロシア製 4.5 世代戦闘機 Su-35 の購入計画の報道」（主任研究員 斎藤正道、10 月 9 日）
・№71「アフガニスタン：パキスタン・ターリバーン運動（TTP）の指導者が殺害か」（主任研究員 斎藤正道、10 月 10 日）
・№72「イスラエル・パレスチナ：停戦の陰で続く、西岸地区での暴力」（研究員 平寛多朗、10 月 14 日）
・№73「イスラエル・トルコ・パレスチナ：ガザ和平へのトルコの関与」（主任研究員 金子真夕、10 月 14 日）
・№74「イスラエル・パレスチナ：人質解放に関する思惑の違いとガザ情勢の今後」（研究員 平寛多朗、10 月 14 日）
・№75「アフガニスタン：ターリバーン軍とパキスタンが交戦」（主任研究員 斎藤正道、10 月 15 日）
・№76「イスラエル・パレスチナ：ガザ地区に対する「合意違反」による軍事攻撃再開の可能性」（研究員 平寛多朗、10 月 15 日）
・№77「UAE：新たなギガソーラー事業が始動」（主任研究員 高橋雅英、10 月 16 日）
・№78「イラン：シャルム・シェイフ和平会議に不参加」（主任研究員 斎藤正道、10 月 16 日）
・№79「イスラエル・パレスチナ：ガザ空爆再開の背後にあるもの」（研究員 平寛多朗、10 月 20 日）
・№80「アフガニスタン：ターリバーン政権とパキスタンの間で停戦が合意」（主任研究員 斎藤正道、10 月 20 日）
・№81「イエメン：サナアでの国連職員らの一時拘束」（特任研究員 髙岡豊、10 月 21 日）
・№82「イスラエル：ネタニヤフ首相、トルコ・カタルを「新たな脅威」と認識」（研究員 平寛多朗、10 月 22 日）
・№83「イスラエル・パレスチナ：イスラエルへの取り込みが進むヨルダン川西岸」（研究員 平寛多朗、10 月 22 日）
・№84「トルコ：ガザ和平会議をめぐるトルコの対応とイスラエルの反発」（主任研究員 金子真夕、10 月 23 日）
・№85「イラン：シャムハーニー最高指導者政治顧問の娘の豪華結婚式の動画が流出」（主任研究員 斎藤正道、10 月 23 日）
・№86「カタル：EU の人権・環境管理義務 CSDDD への反対で米国と連携」（主任研究員 高橋雅英、10 月 24 日）
・№87「パレスチナ：ハマース、行政のあらゆる権限を委譲する意向」（研究員 平寛多朗、10 月 27 日）
・№88「イラク：初の LNG 輸入に向けて米国企業と契約」（主任研究員 高橋雅英／主任研究員 斎藤正道、10 月 31 日）

※内容はホームページをご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/kawara/）

(3) その他の活動

・10 月 7 日（火）、チュニジア国民代表議会のエゼディヌ・タイエブ議員との意見交換を実施した。

・10 月 23 日（木）、アメリカ・ユダヤ・コミュニティ（AJC）アジア太平洋機関のシーラ・ローウェンバーグ部長との意見交換を実施した。

・10 月 30 日（木）、ドバイ公共政策研究所（ブフース）のムハンマド・バハルーン会長との意見交換を実施した。

・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会と地域 1／中東諸国の現在」へ当会研究員が出講した。

① 「オリエンテーション」（研究員 平寛多朗、10 月 1 日）

② 「エジプトの地域外交」（研究員 平寛多朗、10 月 8 日）

③ 「ガザ情勢の現在」（研究員 平寛多朗、10 月 15 日）

④ 「マグリブ諸国の社会経済問題」（主任研究員 高橋雅英、10 月 22 日）

⑤ 「リビア紛争の行方」（主任研究員 高橋雅英、10 月 29 日）

3. その他

外務省人事

・28 日（火）　離任
駐トルコ大使　勝亦 孝彦

・28 日（火）　離任
駐チュニジア大使　大菅 岳史

3. 11 月の予定

・11 月 27 日（木）、16:00～17:30、中東情勢オンライン講演会（森野 泰成 駐サウジアラビア大使「最近のサウジアラビア情勢」）

・11 月 28 日（金）8:30～10:00、トップ・ミーティング（坂梨 祥 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター長「イランをめぐる国際情勢とその展望」、於：オークラ東京プレステージタワー7 階「メイプル」）

＊法人会員限定

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールや HP をご参照ください。
（https://www.meij.or.jp/event/）

＊会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。
＊ログインに必要な ID とパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。